

府中市障害者計画・障害福祉計画（第8期）・障害児福祉計画（第4期）

策定のための調査 調査概要（案）

1 調査目的

本調査は、障害者福祉に関する意見や要望を把握することにより、府中市障害者計画・障害福祉計画（第8期）・障害児福祉計画（第4期）の策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施概要

本調査では次の4種類のアンケートを行います。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法
調査 1	障害のある人の調査	市内の 18 歳以上の障害者手帳所持者、自立支援医療受給者証所持者、特定医療費受給者証所持者 【配布数】 2,300 人 【内訳】 ①身体障害者 1,017 人 ②知的障害者 258 人 ③精神障害者 406 人 ④自立支援医療受給者 150 人 ⑤難病患者 469 人	①市内に居住する 18 歳以上の身体障害者手帳所持者を無作為抽出 ②市内に居住する 18 歳以上の愛の手帳所持者より無作為抽出 ③市内に居住する 18 歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者より無作為抽出 ④市内に居住する 18 歳以上の自立支援医療受給者証所持者より無作為抽出 ⑤市内に居住する 18 歳以上の特定医療費受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)
調査 2	子どもの育ちや発達に関する調査	市内の 18 歳未満の障害者手帳所持者、特定医療費受給者証所持者、障害児通所給付費受給者証所持者の保護者 【配布数】 1,000 人 【内訳】 ①身体障害児 112 人 ②知的障害児 340 人 ③精神障害児 239 人 ④難病患者 5 人 ⑤児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者 304 人	①市内に居住する 18 歳未満の身体障害者手帳所持者 ②市内に居住する 18 歳未満の愛の手帳所持者 ③市内に居住する 18 歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者 ④市内に居住する 18 歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する 18 歳未満の児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)
調査 3	障害者福祉関連団体調査	市内の障害者福祉団体 11 団体	市内の障害者福祉団体（当事者団体・家族会）	メールで実施
調査 4	障害福祉サービス事業所調査	障害者福祉サービス事業所 300 事業所程度	市内の障害福祉サービス事業所	郵送配布、郵送・WEB 回収 (督促礼状 1 回)

3 調査項目（案）

（１）調査１ 障害のある人への調査

① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
A 基本属性	F 1	記入者		
	F 2	(1) 性別、(2) 年齢		
	F 3	居住地域		
	F 4	同居者		
	F 5	所持する手帳（手帳の程度）、自立支援医療の受給の有無および特定医療費受給者証を受給している対象の疾病		
	F 6	身体障害者手帳に記載された項目		
	F 7	精神保健福祉手帳の交付対象となった疾患	○	
	F 8	障害・難病が生じた時期		
	F 9	(1) 収入源、(2) 年収		
B 住まい	問 1	住居形態		
	問 2	住居について困っていること (1) 設計・設備、(2) 住宅事情		
	問 3	住居の困りごとに対して希望する支援		
C 日常生活	問 4	日常生活の状況 (ADL 等) (1) ~ (11)		
	問 5	介助の状況		
	問 5-1	(1) 介助を頼める人、(2) 主な介助者		
	問 5-2	公的サービスによる介助の頻度		
	問 5-3	家族等介助の頻度		
D 障害福祉 サービスの利用	問 5-4	将来の不安なこと		
	問 6	障害福祉サービスの利用状況、利用意向 (1) ~ (8)		
	問 6-1	障害福祉サービスの満足度		
E 日ごろの活動	問 6-2	サービスの不満な理由		
	問 7	外出の頻度		
	問 8	外出の際に受けている制度	○	
	問 9	受けているサービスについて感じていること	○	
	問 10	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度		
F 就労	問 10-1	不満な理由 (バリア等)		
	問 11	現在の仕事		
	問 11-1	仕事上の不安		
	問 11-2	仕事をしていない理由		
	問 12	今後したい仕事		
G 情報・相談・ 権利擁護	問 13	障害のある人が働くために希望すること		
	問 14	情報の入手先	○	
	問 15	利用している情報通信機器	○	
	問 16	利用している SNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス)	○	
	問 17	相談できる人の有無		○
	問 17-1	相談先		
	問 18	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか	○	○
	問 18-1	悩みの内容	○	○
	問 19	介助の負担を軽減するために重要なこと	○	
	問 20	市内の相談機関等の認知度・利用状況 (1) ~ (4)		
	問 21	市内の相談機関等に求めること		
	問 22	成年後見人等にやってほしいこと		

調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
H 防災	問 23	緊急時の単独避難		
	問 24	具体的な援助者		
	問 25	災害時の不安や心配ごと		
	問 26	避難場所で希望する配慮		
	問 27	災害時に協働で進める地域の支え合い		
	問 28	災害対策としてふだんから行っていること		
I 医療	問 29	入院経験の有無		
	問 29-1	退院するにあたっての困りごと		
	問 30	現在受けている医療		
	問 30-1	通院での困りごと		
J 地域共生社会	問 31	近所づきあいの現状		○
	問 32	(1)～(8)の項目について ①地域で頼みたいこと、②頼まれたらできること		
	問 33	地域活動への参加程度		
	問 33-1	参加している地域活動の種類		
	問 33-2	参加しない理由		
	問 34	今後参加したい、継続して参加したい地域活動		
	問 35	市民のノーマライゼーションの理解		
	問 35-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか		
	問 36	必要とする合理的配慮		
	問 37	地域の一員として安心して自分らしい暮らしができてい るか		
	問 37-1	自分らしい暮らしができていない理由		
	問 38	主観的幸福度	○	○
K 施策	問 39	充実を望む施策		
	問 40	府中市は暮らしやすい街か	○	○
	問 41	府中市への居住継続意向	○	○
	問 42	市への要望＜自由回答＞		

② 前回調査（R1）から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
G 情報・相談・ 権利擁護	問 16	成年後見制度を利用しやすくするため に必要なこと	前回調査から変化があまりないと思わ れることと、質問を減らしたため。

(2) 調査2 子どもの育ちや発達に関する調査

① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
A 基本属性	F 1	記入者		
	F 2	居住地域		
	F 3	宛名のお子さんの(1)性別、(2)年齢		
	F 4	宛名のお子さんが所持する手帳(手帳の程度)、特定医療費受給者証の有無(対象疾病)、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証(利用中のサービス)		
	F 5	身体障害者手帳に記載された項目		
	F 6	宛名のお子さんに障害・疾病が生じた時期		
	F 7	宛名のお子さんの同居者		
B 通園・通学	問 1	通園・通学先		
	問 1-1	通園・通学での困りごと		
C 住まい	問 2	住居形態		
	問 3	住居について困っていること (1)設計・設備、(2)住宅事情		
	問 4	住居の困りごとに対して希望する支援		
D 介助の状況	問 5	介助の状況		
	問 5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者		
	問 5-2	公的サービスによる介助の頻度		
	問 5-3	家族等介助の頻度		
E 福祉サービスの利用	問 6	福祉サービスの利用状況、利用意向(1)～(15)		
	問 6-1	福祉サービスの満足度		
	問 6-2	支援を受ける上での困りごと		
	問 7	外出の際に受けている制度	○	
	問 8	受けているサービスについて感じていること	○	
F 育ちや発達の状況	問 9	不安や疑問を感じた時期		
	問 10	どこ(誰)かに相談したか		
	問 10-1	相談して、効果があったか	○	
	問 11	育ちや発達に関する診断の有無		
	問 12	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)～(5) (「子ども発達支援センター あゆの子」を「子ども発達支援センター はばたき」に変更)	○	
	問 13	ライフステージに応じた支援として希望すること		
	問 14	お子さんの将来の希望		
G 防災	問 15	災害時の不安や心配ごと		
	問 16	災害対策としてふだんから行っていること		
	問 17	避難場所で希望する配慮		
H 医療	問 18	現在何らかの医療・医療的ケアを必要としているか		
	問 18-1	現在必要とする医療・医療的ケア		
	問 18-2	医療・医療的ケアの実施にあたっての困りごと		
I 地域・共生社会	問 19	市民のノーマライゼーションの理解		
	問 19-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか		
	問 20	必要とする合理的配慮		
	問 21	地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じるか		
J 施策	問 22	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度		
	問 22-1	不満な理由(バリア等)		
	問 23	充実を望む施策 ※子どもの意見表明権のための支援等追加	○	
	問 24	市への要望<自由回答>		

調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
K 保護者の状況	問 25	主な養育者		
	問 26	保護者の年齢		
	問 27	保護者の就労状況		
	問 28	(1)収入源、(2)世帯の年収		
	問 29	近所づきあいの現状		
	問 30	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか	○	○
	問 30-1	悩みの内容	○	○
	問 31	相談できる人の有無		○
	問 31-1	相談先		
	問 32	情報の入手先の現状と希望	○	
	問 33	亡くなった後のことでの不安	○	
	問 34	主観的健康観	○	○
	問 35	主観的幸福度	○	○
	問 36	養育の負担感・ストレス等軽減のために重要なこと		

② 前回調査（R1）から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
G 防災	問 16	災害時に協働で進める地域の支え合い	前回調査から変化があまりないと思われることと、質問を減らしたため。

(3) 調査3 障害者福祉団体調査

① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	新規設問
A 活動状況	問1	団体の名称・連絡先	
	問2	設立年	
	問3	会員数、運営に携わっている人数	
	問4	活動拠点の有無	
	問4-1	活動拠点の具体的な場所<自由回答>	
	問5	運営経費の収入源	
	問6	活動の担い手の現在の充足度と今後の充実意向 (1)活動する上で足りているか、(2)今後の充実に向けて	
	問6-1	活動の担い手を増やすための取り組みの有無	
	問6-2	活動の担い手を増やすための具体的な取り組み内容	
	問7	活動する上で困っていること	
B 相談支援体制	問8	①活動内容<自由回答> ②団体の活躍の場としてやってみたいこと	
	問9	市の相談支援体制に望むこと	
	問10	ピアカウンセリング等、障害のある人への相談についてできること	
C 災害時の支援	問11	①合理的配慮がなされていない、差別を感じる場面 ②差別等の解消に向け、市と団体とともに取り組めること	
	問12	①災害時の避難や避難生活において、障害のある人への支援でできること ②災害時に必要な支援	
D 制度の谷間の問題	問13	制度の谷間にある人が地域で安心して暮らすためにできる支援	
E 地域共生社会づくりに向けた協力意向	問14	地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること	
	問15	地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること	
	問16	協働したい団体・事業者・企業（障害福祉分野以外も含む）とその理由	○
F 障害福祉施策について	問17	障害のある方を取り巻く現状や身近で感じている課題、府中市に希望すること<計画書にそって18項目、自由回答>	
	問18	市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援<自由回答>	
	問19	府中市の障害のある人の施策に関しての意見・要望<自由回答>	

(4) 調査4 障害福祉サービス事業所

① 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	新規設問
A 活動状況	問 1	事業所の活動状況 (1) 事業所の名称等(名称、所在地、HP、担当者名、連絡先) (2) 事業別の定員数と利用者数 (3) ①必要性を感じるが実施していない事業 ②実施していない理由	
B サービス提供体制	問 2	今後の具体的なサービス提供量(事業別)	
	問 3	インフォーマルサービスに対する利用者の希望	
C 今後の事業運営	問 4	昨年度の事業の採算	
	問 5	運営上の不安	
	問 6	サービスを実施する上での問題	
	問 7	今後5年間の事業規模拡大予定	
	問 8	今後5年間の利用者受入れ余裕	
D 人材の確保・育成・定着支援	問 9	人材の確保・育成・定着に関する課題	○
	問 10	人材の確保・採用に関する取組(効果があったこと)	○
	問 11	人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと)	○
	問 12	府中市に期待すること<自由回答>	○
E 利用者本位のしくみ	問 13	権利擁護のために取り組んでいること	
	問 14	苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※	
	問 15	第三者評価の実施の有無	
	問 15-1	実施の予定はない理由	
	問 16	障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること	
	問 17	サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応	
	問 17-1	<自由回答>	
F 地域共生社会づくりに向けた協力意向	問 18	社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと	
	問 19	地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること	
	問 20	地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること	
G 就労選択支援	問 21	災害時に事業所として協力できること	
	問 22	(就労系事業所に)就労選択支援の検討状況	○
	問 23	(就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット	○
	問 24	(就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題	○
H 新たに取り組みたい支援	問 25	就労選択支援の拡充のために必要なこと	○
	問 26	医療的ケア児者に対する支援の実施状況	
	問 26-1	ケアを実施している児者の人数	
	問 26-2	実施における課題	
	問 27	強度行動障害のある方に対する支援の実施状況	
I 力を入れている点	問 27-1	実施における課題	
	問 28	最も力を入れていること<自由回答>	
J 市への要望	問 29	利用者に対して特に力を入れていること<自由回答>	
	問 30	市の障害福祉サービス充実に向けて必要なこと	
	問 31	障害福祉サービスについての要望 ※ <自由回答>	
	問 32	利用者や家族から寄せられた意見、要望<自由回答>	

② 前回調査（R4）から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
F 感染症対策	問 19 問 20	感染症対策についての取組 新型コロナウイルス対策で困ったこと	今回調査する必要はないため
G 医療的ケア児者への支援	問 21	医療的ケア児者やその支援方法について知っているか	医療的ケア児者に対する支援、強度行動障害のある方に対する支援の質問数を削減し、「F 新たに取り組みたい支援」にまとめている。
	問 22	医療的ケア児者に対する支援の実施状況	
	問 22-1	（実施している場合）医療的ケアを実施している児者の人数	
	問 22-2	医療的ケアを実施する（又は実施予定とする）ための事業運営上の工夫等	
	問 22-3	医療的ケアの実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題	
	問 22-4	（実施していない場合）実施していない理由	
	問 22-5	利用者からの希望があれば実施を検討するか	
	問 22-6	今後、医療的ケアの実施を積極的に検討するために重要な事項	
H 強度行動障害の方への支援	問 23	強度行動障害のある方に対する支援の実施状況	
	問 23-1	（実施している場合）支援に携わる人数	
	問 23-2	強度行動障害のある方に対する支援を実施する（又は実施予定とする）ための事業運営上の工夫等	
	問 23-3	強度行動障害のある方に対する支援の実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題	
	問 23-4	（実施していない場合）実施していない理由	
	問 23-5	今後、強度行動障害のある方の支援の実施を積極的に検討するために重要な事項	
	問 24	強度行動障害支援者に対するサービスの開設に向けて必要なこと	

※比較等を行うため、G・Hすべてを削除するのではなく、黄色い部分について調査を行う